

第3回職業能力開発審議会 議事録

1 日 時 令和8年1月21日（水） 午後2時から午後2時37分まで

2 場 所 徳島グランヴィリオホテル 1階 ヴィリオルーム

3 出席者 （委員15名中12名出席 特別委員3名中1名出席）

4 次 第

1 開 会

2 報 告

テクノスクール再編後の訓練科編成について

3 議 事

第12次徳島県職業能力開発計画の素案について

4 閉 会

（配付資料）

- 資料1 テクノスクール再編後の訓練科編成
- 資料2 「第12次徳島県職業能力開発計画素案」の概要
- 資料3 第12次徳島県職業能力開発計画（素案）
- 参考資料 第12次職業能力開発基本計画（たたき台）

5 議事の概要

（事務局）

本日の出席委員は12名でございますので、当審議会委員数15名の2分の1以上となっており、徳島県職業開発審議会設置条例第6条第2項の規定により、本会が有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

【小原経済産業部 大学・産業創生統括監兼副部長挨拶】

（事務局）

次に、太田会長からご挨拶をいただきます。よろしく願いいたします。

【会長挨拶】

（事務局）

ありがとうございました。ここからの議事進行につきましては、太田会長をお願いいたします。それでは太田会長、よろしく願いいたします。

(会長)

それでは、議事次第に基づき、会議を進めてまいりたいと思います。まず、テクノスクール再編後の訓練科編成についての報告からです。事務局から説明をお願いします。

【事務局から資料1について報告】

(会長)

ありがとうございました。資料1は報告ということで、何かご意見、質問等があればお願いします。よろしいでしょうか。

次に議事に移りたいと思います。去る12月22日に部会が開催され、計画(素案)を取りまとめていただいておりますので、事務局から説明をお願いします。

【事務局から資料2、3について説明】

(会長)

ただ今、事務局から資料2と資料3の説明がありましたが、資料2が概略というところで、素案をまとめた内容になります。素案の柱は20ページ以降が中心かと思うんですけども、ご意見、ご質問があれば発言をよろしくお願いします。

(委員)

34ページと35ページの目標値なんですけれども、大幅に上げることを目指す項目がいくつあるなと思ひまして、2番目の在職者訓練の受講者数、それから障がい者訓練の就職率を60%に、37.8%から60%ってかなり高いなと思うのと、あと、9番目の高校生の技能検定受検者数ですかね、いずれも結構な増加ですので、これを達成する見通しというか対策というか、何かそういうものがありましたら教えてください。

(事務局)

ご質問ありがとうございます。まず在職者訓練の受講者数なんですけれども、テクノスクールの再編の中でも申しましたように、在職者訓練の充実をこれから図っていかうとしております。外国人向け在職者訓練とか、メニューとかもですね、企業の皆様方からやってほしいというようなものをどんどん取り入れて、さらに充実していかうと考えておりますので、そういったこともありまして、ちょっと高い目標にしております。

(委員)

企業からすでに何か要望も来ているということですか。

(事務局)

もともとレディメイド型でこちらがメニューを組んでいるものと、オーダーメイド型という形で、その時々でご要望いただいた形で対応しているものがありますので、それをさらに続けていくというのと、在職者訓練自体があまり知られてないということもありますので、しっかりと情報発信をさせていただいて、さらに多くの企業さんにご活用いただきたいというふうに考えております。

(委員)

じゃあこれからっていう感じですね。

(事務局)

続いて、障がい者訓練の就職率ですけれども、もともと国の方で55%という目標が定められております。県におきまして、障がい者雇用計画というのが別にございまして、そちらの中でもすでに60%という目標を掲げております。それで、こちらが下の受講者数とも関連するのですが、受講者数自体が今、少ない時だと2名とか、多い時で12名という現状がございます。1人就職するともものすごく就職率が上がるということで、過去5年を見ても上がったり下がったりっていうのがとても激しい訓練になっておりますので、基本60%というところを目指して、受講者数も上げながらやっていきたいというふうに考えております。

技能検定につきましては、コロナ前には受験者が120人ぐらいの年もあったんですが、コロナでちょっと下がりました、それがなかなか戻ってきてないというところもございません。高校生の若い技能者の育成が一つ大きな課題になっておりますので、各高校にも働きかけながら、増やしていきたいと考えております。以上です。

(委員)

高校生自体が減ってきている状況で、ここを増やすのは、かなり大変かなと思って、そのあたりと達成率を近づけないと都合が悪いみたいなことがあるのかなと思って、ちょっと下げて設定するのも手かなと思いました。

(会長)

下方修正とか、特にするわけじゃないですよ。

(事務局)

下方修正は基本しないものと考えております。委員のおっしゃるとおりですけれども、工業系高校生の数を見ますと、過去5年ではそれほど減っている状況ではないので、今のところ、6年間はこの数値目標でいければいいなと考えております。

(会長)

一応、目標値の達成見通しも見て、子供の数も見て、設定されたということ。

(事務局)

はい。

(会長)

よろしいですかね。全体的に設定がさらに高くなればいいなということ。

(事務局)

目標値なので高めに設定しております。毎年見直ししながらとは思っておりますが、高いところを目指してやっていきたいというふうに思います。

(会長)

はい、ありがとうございました。概ね、新しく書いたところも新しい項目であったり目標であったり。他に何か御意見はありますか。

(委員)

34 ページですけれども、4 番の委託訓練のところでの3 行目、巡回就職支援員を配置して、巡回就職支援を行っていくということに、現在は多分4 名の方が月1 回巡回で来られると思うんですが、このプラス就職支援が入っております。これは委託先が主に就職の支援を行うんですけど、今後この支援員が配置されることによって、どのような連携というか、ハローワークとの繋がりとか、どういう就職支援を検討されているのか、イメージがあれば教えてください。

(事務局)

ありがとうございます。巡回就職支援員については、今も配置しておりまして、県庁の産業人材課に2 名と各テクノスクールにも2 名ずつぐらいおります。現状は就職支援の部分がまだ十分ではないかもしれないんですけども、訓練生に対しての就職支援などのサポートは行っている状況ではありますので、今はどちらかというと訓練先の開拓等が多い部分もありますので、今後就職支援も訓練先と連携させていただきながら、さらにやっていければというふうに考えているところです。

(委員)

私の記憶の限りではテクノ生から、こういった支援員からのサポートを受けたという話は聞いてなかったもので、私が失念していた部分もあるかもしれないんですけども、実際に行っているという認識でよろしいですか。

(事務局)

現在各テクノにおりまして、就職支援を行っているとっておりますが、現状もう一回確認をさせていただこうと思います。ありがとうございました。

(会長)

よろしいでしょうか。少し長い資料にはなりますけど事前にお渡しして確認いただいていますし、それでは、特にこの案で異論はないということでもよろしいでしょうか。

(異議なし)

(会長)

はい、どうもありがとうございました。それではこの素案を承認することといたします。それでは、次に今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局から今後のスケジュールについて説明】

(事務局)

はい、ありがとうございました。資料2の右下に簡単ですけど今後のスケジュールが書いてありますけども、このスケジュールで進めさせていただきたいと思います。本日の議題はこれで終了ということになりますけども、この際、ご意見、コメント等があれば、お願いします。

(委員)

先ほどですね、事務局から説明がありましたように、オーダーメイドの在職者訓練、あれ、やっぱりあまり知られていないと思います。こんなことできるって、私もあんまり認識がなかったので、業界団体とか通じて周知するということをやっぴりよく徹底していきたいと思いますので、その辺のお願いをしたいなと思います。

(事務局)

ありがとうございます。在職者訓練や他の訓練につきましても、幅広く情報発信に努めたいと思いますので、またその際にはよろしくお願いいたします。

(会長)

この際、他に何か質問、コメント等ありましたらお願いします。よろしいですかね。それではないようですので、これをもって本審議会を終了したいと思います。長きにわたり議事進行にご協力いただき、また熱心なご意見をいただき、ありがとうございました。それでは事務局にお返しします。

(事務局)

太田会長、議事運営ありがとうございました。最後に小原大学産業創生統括監兼副部長から閉会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

【小原経済産業部 大学・産業創生統括監兼副部長挨拶】

(事務局)

以上をもちまして、本日の第3回徳島県職業能力開発審議会を閉会いたします。ありがとうございました。